



よしだつうしん

# 吉田通信

第16号  
【2016年1月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

## ◆伝説の7口野球選手、景浦将さんのお墓はどこですか？◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第16号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先日見た業界誌（月刊石材）に、とても共感できるお話が書いてありました。その内容は水島新司さんの漫画『あぶさん』の景浦安武のモデルとなった一人としても知られる、プロ野球大阪タイガース（現・阪神タイガース）の伝説の選手、景浦将（かげうら まさる）さんのお墓についてのことで、題名は「お墓は石に限る」でした。

ある日、月刊石材の発行元にメールで「景浦将さんのお墓はどこにありますか？」と、問い合わせがあったそうです。その問い合わせをした方は、息子さんが硬式野球をやっている、またご自身の誕生日が景浦将さんの命日だった方で、景浦さんに興味を持ち、お墓参りに行こうと思ったそうです。その問い合わせを受けた担当者は「松山市の伊台町にありますので、そこで地元の方に聞いてみてください」と、返信をされたそうです。

現在、景浦将さんのお墓は、お寺様や霊園ではなく、伊台町の道ばたに他の軍人さんのお墓と並んで建っているそうです。景浦将さんは、1945年にフィリピンで戦死され、お骨は戻ってないそうですが、そこに石でできたお墓が存在しています。

最近では、お墓を建てず海などへの散骨や、樹木葬、それから合祀墓などが増えていますが、石でお墓を建てないと、その直後はいいかもしれませんが、年月が経つとお参りの対象物が曖昧になってしまいます。景浦さんのお墓も石で存在していることで、伊台町の人たちも「あそこにありますよ」と教えてくれて、問い合わせた方がお参りに行くことができました。



もっとも歴史を遡ると、縄文時代から石のお墓はあったとのこと。石は残り、誰もがお参りできるということ、当時の人たちもわかっていたのです。

今回「お墓は石に限る」という記事を読んで、故人をお参りする対象物としてお墓は石であることがやっぱり大事ななあ、と、石屋としてあらためて思いました。

## ◆発行者コラム◆

今回も最後までお読みいただき、どうも有り難うございました。私の2016年の目標は、1日7千歩歩くことです。ずっと8千歩を目標にしてきたのですが、どうしてもクリアできず、自分の今の生活スタイルでは、不可能に近いことがわかってしまいました…。7千歩であれば、ギリギリ達成できるかどうかのラインです。目標を達成するために頑張ろう！という気持ちがかわいてくるように、2016年は“もう少し頑張れば達成できる”1日7千歩目標でいきたいと思います（笑）。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

### 【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）  
生年月日：昭和40年8月21日（O型）  
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）  
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋  
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）  
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史